

## 街並みの変貌が著しい勝島

### 勝島町会

勝島といえば運河に囲まれた人工島で、倉庫街と大井競馬場があり住人が少ない地域というイメージが定着していました。

町の中央を東西に競馬場通りが通り、この道路をはさんで、南側が大井競馬場、北側が倉庫街と大きく2つに分ける事ができます。

ところがここ数年の間に、大きな公務員宿舎や民間の大規模マンションが3棟建つなどした結果、3年前の世帯数・人口と同規模の新規層の流入があり、4月1日現在の世帯数・人口は約2倍の2466世帯・5544人（住民基本台帳より）へと急激に膨張し、活気あふれる街へと変化しています。中でもファミリー層の増加が多いように感じます。

また、生活環境が大変良くなりました。買物と食事をする店が極端に少なかった地域ですが、数多くの店舗が入った大型ショッ

ピングモール「ウィラ大井」（1階にはホームセンターが入居）ができ、豊富な品揃えで日常生活も便利になりました。

更に大井競馬場の施設も進化しています。競馬場は、10月からの「大規模イルミネーションスポット」の実現に向けた準備が進められているようです。（4月の開催から一部をご覧になれますので開催日に足を運んで楽しんでみて下さい。）

今後の更なる変貌が楽しみです。



昭和58年3月しながわ区民公園周辺  
しながわWEB写真館より

## 愛されるのら猫たち

### 大井関ヶ原町会

十数年前から、のら猫の世話をつづけてこられた方々が、地域猫活動を認められ、“飼い主のいない猫との共生モデル事業地区”として町会の一角が認定されました。のら猫を増やさない為に不妊、去勢手術をし猫が健やかに寿命を全うできる迄世話をし、現在6匹の猫は全部手術済との事。

品川区では人が快適に暮らすために、のら猫を排除するのではなく、人と猫が共生する街づくり、のら猫を増やさない事が重

要な解決策と考え“共生モデル地区”を設定し、のら猫の不妊、去勢手術費の一部を助成する事になりました。



モデル構成員になるといろいろルールに沿った活動に向います。



猫は一年半で十匹以上に増えるそうです。苦手だからと云って排除してしまえば元に戻ってしまうそうです。のら猫が住みそうになったら“地域猫活動”として地域で見守る事もひとつの案、地域のコミュニケーションを図る上でも重要な役割を果たすのではと思います。

一度飼育した猫は一生飼い続けるのは飼い主の責任です。飼い続ける事が出来なくなった場合は新たな飼い主を見つけましょう。